



GLOBAL DAIRY PLATFORM

IDF/GDP 共同声明 国連気候変動枠組条約第27回締約国会議 (COP27)

発行日：2022年11月4日

2022年11月

2022年11月7日から18日までエジプトで開催される国連気候変動会議（COP27）は、農業と酪農乳業がいかに解決策の一端を担えるかを議論する機会となることでしょう。IDFとGDPは、ウルグアイ共和国とともに、世界の酪農乳業セクターによる「酪農乳業ネットゼロへの道筋（Pathways to Dairy Net Zero）」の取り組みの進捗について11月11日にサイドイベントを開催する予定です。

酪農乳業は、温室効果ガス（GHG）排出量、水、土地利用への影響を低減し、土壌と生態系サービスに対する積極的な貢献を最適化することに取り組んでいます。このコミットメントは、2013年の「[デーリー・サステナビリティ・フレームワーク（DSF）](#)」の創設、2016年にIDFとFAOの間で署名された「[デーリー・ロッテルダム宣言](#)」、そして2021年の「[酪農乳業ネットゼロへの道筋](#)」の気候イニシアチブの立ち上げに表れています。COP27は、酪農乳業セクターが環境への影響を緩和し、気候変動対策を強化するためにすでに参画している多くの活動を伝えるまたとない機会となっています。

酪農乳業セクターは、持続可能な方法で生産された安全で栄養価の高い食品で世界の人々を養うために日々活動しています。世界中で60億人を超える人々が毎日、栄養を乳製品に頼っています。乳製品は栄養素を多く含む食品であり、大量のエネルギー、高品質のタンパク質、カルシウム、マグネシウム、セレン、リボフラビン、ビタミンB₅とB₁₂などの微量栄養素を供給しています。

また酪農業は10億もの人々の生計と、さらに多くの人々への食料供給のために不可欠であり、その中には慢性的な貧困、飢餓、栄養不足の状態で見守られている人々もいます。牛乳乳製品の生産、取引、消費は、世界中で強いコミュニティを築くために不可欠なのです。酪農乳業セクターは、すべての人が健康で生産的な生活を送るために十分な良質の食料を与えられ、同時に将来の世代のために繁栄する地球を守る、強靱な食料システムの構築に貢献します。

酪農業は、先進的な考え方、イノベーション、技術を受け入れており、その活動的な性質から、環境への影響を低減するための新しい技術を継続的に取り入れています。国連食糧農業機関（FAO）が2005年、2010年、2015年のデータを比較して行った分析では、その10年間でこの部門のGHG排出原単位（単位あたりの排出量）が11%減少していることがわかりました。

この観点から、IDFは世界の酪農乳業セクターがカーボンフットプリントを算定するための強固なベンチマークを発展させ、バリューチェーン全体における同セクターのGHG排出量削減の進捗を続けられるよう、「[酪農乳業セクターのためのカーボンフットプリント世界標準](#)」を開発しました。このIDFカーボンフットプリント世界標準は、世界の酪農地域全体のGHG排出源とその特性を理解し、酪農乳業セクターがネットゼロに向けた歩みを進める中でGHGによる影響を緩和するための的を絞った行動を実行するために非常に重要な文書なのです。

またIDFは、畜牛生産システムにおける炭素隔離量を計算するための「[炭素隔離計算に関するLCAガイドライン](#)」を発表しました。このガイドラインは、GHGのフットプリント計算の一部として、畜牛セクターにおける炭素隔離量を定量化するための適切な科学的根拠に基づく手法を提供します。この新しい方法論は、酪農部門と肉牛部門による4年間におよぶ共同作業の成果となっています。このプロジェクトの目的は、炭素隔離を推進し、それによって気候変動を緩和するような実践を酪農家が行うことを支援・奨励する方法を定量化を通じて開発することでした。

酪農乳業セクターは、メタンの温暖化等価排出量を測定する比較的新しい指標である GWP* (GWPスター) に関するエビデンスも構築してきました。包括的な文献調査とモデル化研究により、GWP*がGWP₁₀₀よりもメタンの地球温暖化への影響をより正確に評価することを示しました。GWP*は優れた計画・予測ツールであることが証明されましたが、その適用には限界があることもわかりました。

さらにFAO、GDP、農業温室効果ガスに関するグローバル・リサーチ・アライアンス (GRA) の新しい報告書により、家畜の寿命や生産性に影響を与えるような疾病はすべてGHG排出に大きく影響するため、家畜の健康を改善することがGHG排出量削減に役立てられることを明らかにしました。

このような理由から、世界の酪農乳業セクターはCOP27を含めた気候変動に関する議論の場に積極的に参加しています。IDF、GDPとその加盟団体は、上に述べたようなゲーム・チェンジング・ソリューション (状況を変える解決策) によって、COP27に寄与しています。私たちは今後も全世界、各地域、各国内での意見交換の機会に参加し、地球にとって重要なこの課題の解決に向け、酪農乳業が果たすことのできる重要な役割を共有していきます。

詳しくは以下のリンク先をご覧ください。

<https://fil-idf.org/dairys-global-impact/dairy-sustainability-outlook/>

<https://pathwaystodairy.netzero.org/>

(仮訳 : Jミルク)